

# 記者配布資料

平成 28 年(2016 年) 3 月 25 日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二	附属地域共生センター 所長 か と だ けい こ 加登田 恵子	附属地域共生センター ひらの くみ こ 平野 久美子	☎ 083-928-3495
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

## 1 件名

平成 28 年度 山口県立大学前期公開授業

「生命と生活の質特論」「地域学」「環境問題」「哲学」「環境理論特別講義 I」の開催について

## 2 内容

山口県立大学では、本学の授業科目の一部を一般公開しています。

本学教員をはじめ、各界の第一線で活躍する講師陣による講義を学生と一緒に受講してみませんか。

授業名	概要	①開催期間 ②会場 ③受講料
生命と生活の質 特論	いま大きな危機にさらされている私たちの生命・生活・人生の質 (quality of life) を複眼的な視点で問い、自由なディスカッションやワークショップ形式の学び合いの中で認識を深めていきます。大学院の授業です。 【全 15 回】	①5 月 7 日(土)～7 月 2 日(土) 9:00～14:30 ②山口県立大学 4 号館 D15 教室 ③各回 500 円 (10 回以上 5,000 円)
地域学	山口県の自然・福祉・教育・政治・経済など多様な視点から地域を見つめ、自分自身の生活が地域社会とどのように繋がっているのか、また繋がる可能性があるのかを考え、地域課題解決や地域活性化に向け、主体的に取り組む能力を身につけることを目指します。 【全 9 回】	①4 月 21 日(木)～6 月 23 日(木) 12:50～14:20 ②山口県立大学 4 号館 D15 教室 ③各回 500 円

環境問題	身近な環境問題を足元から解決するための知識と経験を学ぶなかで、身の周りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育てると共に、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。 【全15回】	①4月15日(金)～7月29日(金) 10:20～11:50 ②山口県立大学3号館C11教室 ③各回500円 (10回以上5,000円)
哲学	哲学の領域の中でいくつかの思想を採り上げ、他者の思想を学ぶことを通じて、現代に生きるわれわれの思想の枠組みを相対化するために、古代から中世、近代の哲学の議論を概観します。 【全8回】	①6月9日(木)～7月28日(木) 16:10～17:40 ②山口県立大学4号館D15教室 ③各回500円
環境理論特別講義 I	「今、地球どうなっているのだろうか？」環境問題に関わるトップレベルの研究者が、地球環境問題の今とこれからの対策について語ります。 【全3回】	①5月14日(土)、6月18日(土)、 7月2日(土)9:00～12:10 ②山口県立大学4号館D12教室 ③各回500円

詳しい講義内容・日程については、直接お問合せいただくか別添チラシ（本学ホームページにも掲載しています）をご確認ください。なお、教室は変更になる場合があります。

### 3 申込方法

- (1) 電話、FAXまたはハガキで、住所、氏名（ふりがな）、電話番号・FAX番号を申込先〈山口県立大学附属地域共生センター共生教育部門〉までお知らせください。
- (2) 部分受講も可能です。また、開催期間中は、随時受付いたします。

### 4 申し込み・問い合わせ先

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1  
山口県立大学附属地域共生センター 共生教育部門  
TEL 083-928-3495  
FAX 083-928-3021  
ホームページ <http://www.ypu.jp/>

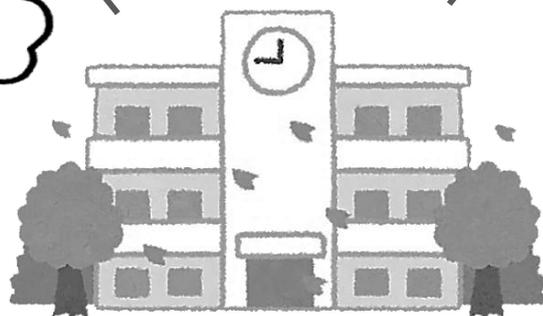


平成 28 年度 山口県立大学

前期

受講生募集中

# 公開授業



山口県立大学では、授業科目の一部を一般公開しています。

本学教員をはじめ、各界の第一線で活躍する講師陣による講義を学生と一緒に受講してみませんか。

平成 28 年度前期は全 5 科目の受講生を募集しています。

詳しい講義内容や日程については、直接お問合せいただくか本学ホームページでご確認ください。

## 地域学

日時: 4 月 21 日(木)~6 月 23 日(木)  
12:50~14:20 【全 9 回】

講師: 坂本俊彦・吉岡一志 他

山口県の自然・福祉・教育・政治・経済など多様な視点から地域を見つめ、課題解決や活性化に向け、主体的に取り組む能力を身につけることを目指します。

## 環境問題

日時: 4 月 15 日(金)~7 月 29 日(金)  
10:20~11:50 【全 15 回】

講師: 安溪 遊地 他

身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学びます。自分の生活を再点検しながら、暮らしと環境を変えていくきっかけをつかむ生活者となることを目指します。

## 哲学

日時: 6 月 9 日(木)~7 月 28 日(木)  
16:10~17:40 【全 8 回】

講師: 廣田 智子

哲学の領域の中でいくつかの思想を採り上げ、他者の思想を学ぶことを通して、現代に生きるわれわれの思想の枠組みを相対化するために、古代から中世、近代の哲学の議論を概観します。

## 生命と生活の質特論

日時: 5 月 7 日(土)~7 月 2 日(土)  
9:00~14:30 【全 15 回】

講師: 江里 健輔・安溪 遊地 他

いま大きな危機にさらされている私たちの生命・生活・人生の質 (quality of life) を複眼的な視点で問い、自由なディスカッションやワークショップ形式の学び合いの中で認識を深めていきます。大学院の授業を公開します。

## 環境理論特別講義 I

日時: 5 月 14 日(土)、6 月 18 日(土)、  
7 月 2 日(土) 9:00~12:10 【全 3 回】

講師: 今村 主税 他

「今、地球どうなっているのだろうか？」環境問題に関わるトップレベルの研究者が、地球環境問題の今とこれからの対策について語ります。

受講料 1 回 500 円

部分受講も可能です。

お気軽に下記までお申込み・お問合せください。

### 【お申込み・お問合せ】

山口県立大学地域共生センター 共生教育部門

〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1 TEL:083-928-3495 FAX:083-928-3021

山口県立大学公開授業

検索

# 生命と生活の質特論

quality of life

いま大きな危機にさらされている私たちの生命・生活・人生の質 (quality of life) を複眼的な視点で問い、自由なディスカッションやワークショップ形式の学び合いの中で認識を深めていきます。

日 時：5 月 7 日(土)～7 月 2 日(土)

会 場：山口県立大学 4 号館 D15 教室

受講料：1 回 500 円

【全 15 回】 部分受講可

- 全回受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。

## ■会場案内図



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

## ■講義内容

回	日程	時間	テーマ	内容	講師
1	5/7 (土)	9:00～ 10:30	QOL とは何か？ 大学院で学ぶとはどういうことか？	Life: いのち、生命、生活、人生…。なぜ、いま地域貢献型の山口県立大学大学院でQuality of life を学ぶのか。特別ゲストとして江里健輔理事長を迎えて、医療の現場からの報告をおこなう。	理事長 江里健輔 担当講師全員
2		10:40～ 12:10	日本社会の変化と 子どものこころの発達①	戦後からの日本社会の変化・家庭の変化によって子どもたちのこころの発達がどう変わってきたのかについて考える。	看護栄養学部 教授 中村 仁志
3	5/14 (土)	9:00～ 10:30	日本社会の変化と 子どものこころの発達②	日本社会の変化によって子どもたちのこころの発達の見方・特徴がどう変わってきたのかについて考える。	看護栄養学部 教授 中村 仁志
4		10:40～ 12:10	食事における QOL① ～満足できる食事とは?～	生涯を心身ともに健康で楽しく生きるために、ここでは、「栄養」とともに“おいしさ”をキーワードに「QOL を高める食事」として考える。	看護栄養学部 准教授 園田 純子
5		13:00～ 14:30	食事における QOL② ～加齢と食の変化～	福祉実践で実践アプローチがいわゆる「医学モデル」から「生活モデル」へと変化した過程と生活者視点でQOL を高めるケア実践を紹介します。	看護栄養学部 准教授 園田 純子
6	5/21 (土)	9:00～ 10:30	豊かさの指標 ～古典的貧困と現代的貧困～	人類が幸福を目指す歴史の大半は、窮乏・欠乏からの解放でした。〈量〉から〈質〉への転換といわれますが、「QOL」という概念が持ち出された背景の一つである先進国における「現代的貧困論」について紹介します。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
7		10:40～ 12:10	子どもの貧困、若者の貧困	およそ6人に1人の子どもが貧困線以下のレベルで暮らしている日本。しかしその現状は目に見えにくく、貧困世帯への社会の理解も乏しいように思います。現状を知るとともに、困窮する子どもを見つけ、寄り添うために、私たちに何ができるかを考えます。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
8		13:00～ 14:30	災害と QOL	災害多発国日本。突然の自然災害は人々の生活を質・量ともに脅かし、破壊します。その心理社会的被害を踏まえるとともに、新たに復興への道筋はQOLの観点から再構築されます。その模索の実状について考えます。	社会福祉学部 教授 加登田 恵子
9	6/11 (土)	9:00～ 10:30	コンゴ民主共和国の森の村で味わう 〈食べ物〉と本当の〈豊かさ〉	アフリカと聞いたら、どんなことをイメージするだろうか。「人間は環境を破壊して生きるしかない」というのは大変な思いこみだと気づいた経験を語る。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
10		10:40～ 12:10	世界を旅して気付く 「みんな違ってみんな…」	フランスやスペイン、沖縄や奄美で、人々の現在の暮らし方をともに味わい、地域に根ざした伝承や芸能に耳を傾けたりする中で気付いた、日本人の生活に決定的にかけている「あるもの」とは。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
11	6/18 (土)	9:00～ 10:30	地球2 個半が必要な 日本人の暮らしとその影響	環境問題のほとんどは人権問題でもあることを公害経験は教えている。そして、私たちの便利な暮らしがレアアースなどの希少資源を必要とし、その産出国での内戦・飢餓・レイプ・虐殺などに結びついている。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
12		10:40～ 12:10	すべてに命がやどり 魂があるという南の島の宇宙観	人間だけが一番えらいという思い込みを離れ、あらゆる自然の恵みに感謝しながら日々祈りと歌に埋め尽くされた南の島の暮らし。そこから私たちが学ぶものとは。	国際文化学部 教授 安溪 遊地
13	7/2 (土)	9:00～ 10:30	グループディスカッション (分科会)	4室にわかれてグループディスカッション	担当講師全員
14		10:40～ 12:10	分科会の報告と質疑応答	それぞれの部屋での討論の内容を10分程度にまとめて、全体会で学生代表が紹介し、質疑応答する。	担当講師全員
15		13:00～ 14:30	まとめ	全員参加によるまとめと今後の展望	担当講師全員

## ■受講申込書

平成 28 年度前期公開授業「生命と生活の質特論」を受講します。

お名前（ふりがな）	
ご住所	〒
電話(日中連絡のとれるもの) FAX	

# 地域学



山口県の自然・福祉・教育・政治・経済など多様な視点から地域を見つめ、自分自身の生活が地域社会とどのように繋がっているのか、繋がる可能性があるのかを考え、地域課題解決や地域活性化に向け、主体的に取り組む能力を身につけることを目指します。

日 時：4月21日(木)～6月23日(木)

各回 12：50～14：20 【全9回】

会 場：山口県立大学 4号館D15教室

受講料：1回 500円 部分受講可



- ◆ 全回を受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- ◆ 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。

## ■会場案内図



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

## ■講義内容

回	日時	テーマ	内容	講師
1	4/21 (木)	山口の教育	教育史を紐解きながら、近代学校教育の問題点を「地域」の視点から考える。	山口県立大学 講師 吉岡 一志
2	4/28 (木)	山口の自然	山口県の自然特性、またエコツアーの特性について、秋吉台を中心に学ぶ。	元 秋吉台科学博物館 館長 庫本 正
3	5/12 (木)	山口の地域福祉	少子高齢化・家族の縮小等が進む山口県の制度による福祉・市民による助け合い活動とまちづくりの可能性を考える。	山口県立大学 教授 草平 武志
4	5/19 (木)	山口の地域看護	地域の健康課題を解決するための、自助・共助・公助による地域の健康づくり活動について、具体的な事例を通して学ぶ。	山口県立大学 教授 藤村 孝枝
5	5/26 (木)	山口の遺産・錦帯橋	錦帯橋と木組み技法の継承など、山口と縁の深い工事的事柄について教育の立場から学ぶ。	岩国市産業振興部観光振興課 錦帯橋世界遺産推進室 岡崎 賢治
6	6/2 (木)	山口の政治	山口県の政治風土、特に近代以降の日本政治に果たした役割と山口県民の政治意識について学ぶ。	山口県立大学 教授 井竿 富雄
7	6/9 (木)	山口の歴史	イギリスの資料を用い、日本と海外の双方の視点から幕末の山口の歴史を学ぶ。	大島商船高等専門学校 講師 田口 由香
8	6/16 (木)	山口の経済と産業	山口県の経済と産業の発展の歴史と産業特性について学ぶ。	山口経済研究所 宗近 孝憲
9	6/23 (木)	山口の地域社会と地域づくり	住民が運営する「コミュニティタクシー」を事例として、高齢化が進む山口県における地域コミュニティのあり方を考える。	山口県立大学 教授 坂本 俊彦

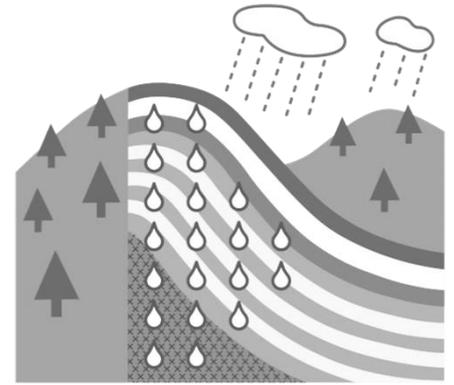
※ 講義内容等が変更になる場合があります。

## ■受講申込書

平成 28 年度前期公開授業「地域学」を受講します。

お名前 (ふりがな)	
ご住所	〒
電話 (日中連絡のとれるもの) FAX	

# 環境問題



福島第一原発事故での原発安全神話の崩壊、続く放射能安全神話の発生。「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という“常識”も崩壊した。物事を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知識と経験を学ぶなかで、身の周りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育てると共に、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。現場の声に耳を傾け、マスコミには載らない情報に触れることで、さまざまなマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足元から暮らしと環境を変えていききっかけをつかむ生活者となることを目指します。

日時: 4月15日(金)~7月29日(金)

各回 10:20~11:50 【全15回】

場所: 山口県立大学 3号館 C11 教室

講師: 国際文化学部 教授 安溪遊地

受講料: 1回 500円 部分受講可

## 会場案内図



- 13回以上を受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

## ■講義内容

回	日時	テーマ	内 容
1	4/15 (金)	環境問題のほとんどは人権問題です -この講義の進め方	環境問題といわれるもののほとんどは人権問題です。安心して暮らせる平和な環境を守るための身近な地球人たちの真剣な、ときに痛快なチャレンジを紹介します。
2	4/22 (金)	想定されていた地震・津波・原発災害 -天災から人災へ	「想定外だった」を繰り返す電力会社や政治家たち。しかし、神戸大学の石橋克彦教授(地震学)は1997年に現在福島第一原発で起こっていることを恐ろしいほど正確に予測していた。地震は止められない天災だったが、その後起こったことの多くは人災だったのである。
3	5/6 (金)	携帯電話は安全か？ 電磁波のことを知っていますか	放射線から携帯の電波にいたるまで、電磁波との正しいつきあい方を物理学の専門家からしっかりと学ぶ。それを手がかりに、なぜかスマホメディアが報道しないことにも踏み込んで考えてみたい。
4	5/13 (金)	アフリカからのメッセージ -人類は環境を破壊して滅びる生きものではない	コンゴ民主共和国の森の村で暮らした日々を受けたショック。ゴミの出ない暮らし、地下資源にほとんど頼らないで自然の資源を恵みとして営まれる循環的な暮らし。そのなかで味わったこと、学んだことをお伝えしたい。
5	5/20 (金)	グローバルからローカルへ -「半農半X」の楽しみを生きる	アフリカでめざめて放浪の旅をやめ、小さな農業をはじめた、山口県田布施町の天下充徳(あつお)さんの物語に耳を傾けよう。本物をお菓子や幼稚園や学校をつくるという仕事に取り組み、ワケワケを伝えます。
6	5/27 (金)	あつたか村においてよ -人の健康・地域の健康・地球の健康を守る (阿武町・白松博之)	救世に囲まれて合併しない道を選んだ阿武(あぶ)町。そこには「あつたか村」という地域おこしの拠点があります。いなかには都市が忘れてしまった大切なものがある。それをみつけにきて、その知恵を身につけよう。都会的なライフスタイルからの乗り換え駅への案内。
7	6/3 (金)	先住民族の教え -アイヌ民族と沖縄・八重山の人々の世界観に学ぶ	自然の中にたくさんの神様たちがいる。「隣のトロ」や「ものけ姫」の世界にはモデルがあります。自然の恩恵への感謝を常日頃忘れないようにという南の島々やアイヌ民族の教えに含まれる、未来への遺産を味わい、それをとりもとして身につける練習をしましょう。
8	6/10 (金)	スペイン・ナバラ自治州の持続可能性への挑戦 -わずか20年で70%電気エネルギー自給を実現	山口県と姉妹提携しているスペインのナバラ州では、グリーン・エネルギーとグリーン・ツーリズムの取り組みが盛ん。「持続可能性」を自治政府の政策の柱に据えたとき、地域がどこまで変わらうかの例として2005年に5ヵ月滞在してくわしく見聞した内容を中心に紹介。
9	6/17 (金)	市民科学者のできること -上関原発予定地の“奇跡の海”の生物多様性を守る	瀬戸内海の上関原発の予定地は、じつは日本の浅海では最高の生物多様性ホットスポットだった！そのことを無視して押し切ろうとする行政主導の委員会の中で苦闘する市民科学者とともに歩んできた市民たちのこれまでの取り組みを紹介します。
10	6/24 (金)	化石燃料から再生可能エネルギーへ -地球1個分の暮らし	エネルギーが足りない、資源が足りないによく言われる。しかし、もう汚してもいい環境がなくなってしまった、というエントロピーの問題こそが、地球環境問題の最大の焦点だろう。この授業を、再生可能ということの基本から考え直す機会にしたい。
11	7/1 (金)	知る・愛する・守る -アフリカの森と屋久島の森を守る人々との交流	1978年からコンゴ民主共和国やケニアに通っている安楽遊地・安楽貴子の研究と地元の人々との交流を紹介。内戦や貧困など、どのような困難の中でも、希望を失わず自然との共存に生きる人々の生き様に学ぶ。
12	7/8 (金)	安心安全の暮らしのために(1) -本当にこれを食べてもいいのですか？	それはほんとうに安心して食べられるものか、例えば10週間も腐らないポテトチップス。例えば半年もかびないレモン。例えば…。食べ物から暮らしを見直すための提案。
13	7/15 (金)	安心安全の暮らしのために(2) -身の回りのいのちの声に耳をすます	人間の手が加わった自然である田んぼや里山にあたりまえにいた生き物たちが全国で絶滅しています。命の音が聞こえないことが最大の危機かも。そして、里山の自然が豊かに残る山口県のすごさに気付かないことも。
14	7/22 (金)	黙っていてあとで後悔するのはいやですね -いま足下からできること	県産財の産直で建てた価格破壊の自然住宅づくりと「第三種兼業農家」としての四季の暮らし。そして、そこに突然起こったごみ処分場騒動や目の前の携帯電話中継基地局建設の顛末。
15	7/29 (金)	だまされないために -知るは難く行うは易し	ありもしないことを恐れたり、できもしないことを信じているから不安になるのです。いろいろな情報の海を泳ぎ切る力をつけましょう。

## ■受講申込書

平成28年度前期公開授業「環境問題」を受講します。

お名前(ふりがな)	
ご住所	〒
電話(日中連絡のとれるもの) FAX	

# 哲学

哲学の領域の中でいくつかの思想を採り上げ、他者の思想を学ぶことを通じて、現代に生きるわれわれの思想の枠組みを相対化するために、古代から中世、近代の哲学の議論を概観します。

日時：6月9日(木)～7月28日(木)

各回 16:10～17:40【全8回】

場所：山口県立大学 4号館 D15 教室

講師：社会福祉学部 講師 廣田智子

受講料：1回 500円 部分受講可

## 会場案内図



- 全回を受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1

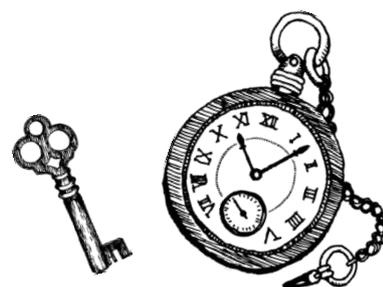
山口県立大学地域共生センター 共生教育部 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

## ■講義内容

回	日時	テーマ	内 容
1	6/9 (木)	古代ギリシアの哲学 (1)	古代ギリシアにおける哲学の始まりについて
2	6/16 (木)	古代ギリシアの哲学 (1)	ソクラテスの対話法やプラトンのイデア論について
3	6/23 (木)	古代ギリシアの哲学 (2)	アリストテレスの四原因論について
4	6/30 (木)	中世のキリスト教の哲学 (1)	アウグスティヌスの時間論について
5	7/7 (木)	中世のキリスト教の哲学 (2)	トマス・アクィナスの神の存在証明について
6	7/14 (木)	近代の哲学 (1)	イギリス経験論について
7	7/21 (木)	近代の哲学 (2)	デカルトの方法的懐疑について
8	7/28 (木)	近代の哲学 (3)	カントの批判哲学について



## ■受講申込書

平成 28 年度前期公開授業「哲学」を受講します。

お名前 (ふりがな)	
ご住所	〒
電話(日中連絡のとれるもの) FAX	



# 環境理論特別講義 I

「今、地球はどうなっているのだろうか？」  
環境問題に関わるトップレベルの研究者が、地球環境問題の今とこれからの  
対策について語ります。

受講料：1 回 500 円

※部分受講も可能です。

5月 14 日(土) 9:00~12:10  
4号館D12教室

環境リスクを考える

講師：北九州市立大学国際環境工学部

教授 二渡 了

環境リスクとは、化学物質などが環境を經由して、  
人の健康や動植物の生息・生育に悪影響を及ぼす可  
能性のこと。環境リスク管理のための情報共有やリ  
スクコミュニケーションの実際について考えます。

2

6月 18 日(土) 9:00~12:10  
4号館D12教室

環境政策とエネルギー  
マネジメントシステム

講師：平安女学院大学国際観光学部

国際観光学科 准教授 山本 芳華

EMSのエネルギーマネジメントシステムとしての  
活用内容や市民事業者の活動と環境政策、地球温暖  
化について言及します。

※全回受講された方には

「山口県立大学公開授業修了証書」を  
授与いたします。

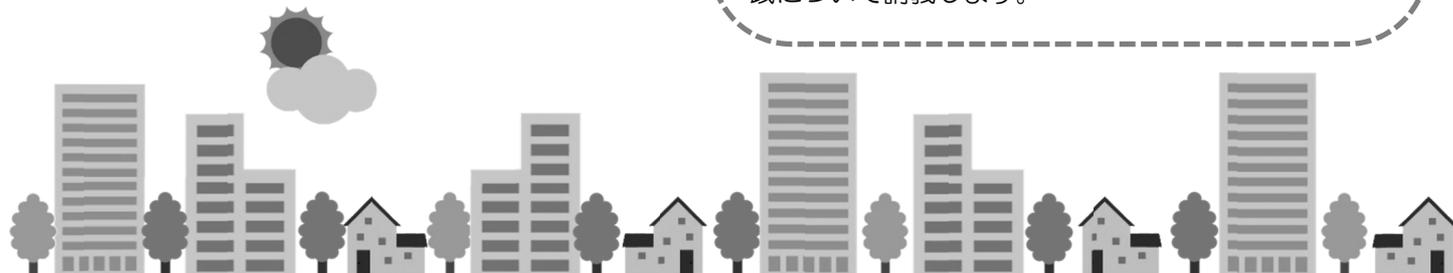
7月 2 日(土) 9:00~12:10  
4号館D12教室

ESDイノベーション

講師：ESD-J

副代表理事 池田 満之

持続可能な社会づくりに向けた変革(イノベーション)  
をうみ出していくESD(持続可能な開発のための教  
育)は、すべての人に必要な教育です。その理論と実  
践について講義します。



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

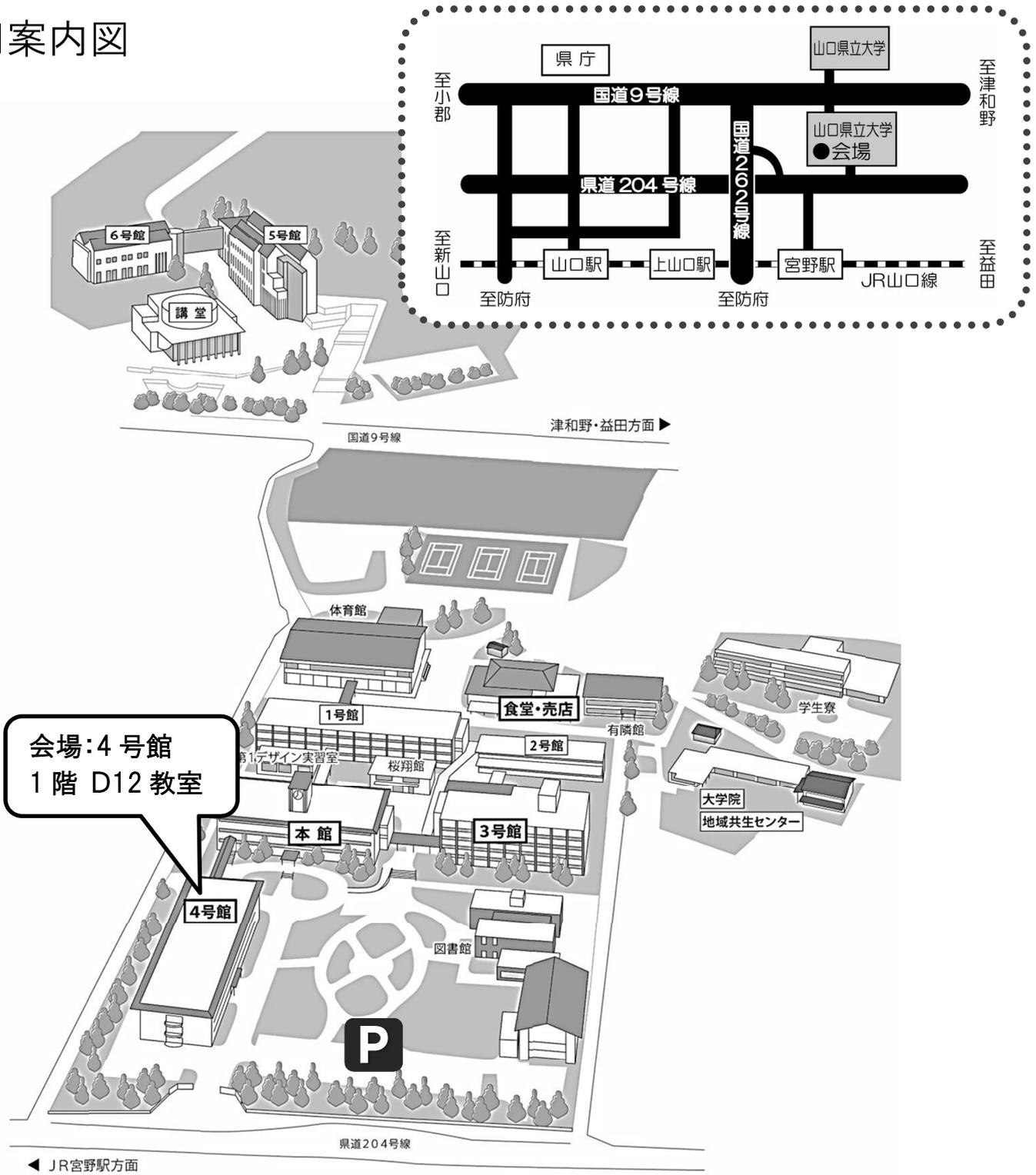
〒753-8502 山口市桜畠 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

## 案内図



## 受講申込書

平成 28 年度前期公開授業「環境理論特別講義 I」を受講します。

お名前 (ふりがな)	
ご住所	〒
電話 (日中連絡のとれるもの) FAX	